

# 岩手県における障がい者雇用事例

社会福祉法人 カナンの園  
(平成23年度岩手県知事表彰)

～その人の成長の必要に応じた環境づくりをする～

社会福祉法人カナンの園は、障がい者の雇用及び障がい者が働きやすい職場づくりに積極的に取り組んでいることから、平成23年度に障がい者の雇用優良事業所岩手県知事表彰を受賞しました。今回、就労継続支援A型(雇成型)の事業所であるカナン牧場を訪問しました。



## 多機能型事業所 カナン牧場

【事業所所在地】

二戸郡一戸町奥中山字西田子1027-8

【事業内容】

- ・パン製造、販売
- ・農産加工製造、販売

【従業員数】

46名(H24.4.1現在)

うち障がい者32名(障がい種別:知的障がい29名、精神障がい1名、身体障がい2名、うち重度18名)

### ◆ 障がい者雇用の経緯、背景

昭和57年4月に、当時の養護学校と一般就労との中間の福祉的就労の受け皿として、有限会社カナン牧場が創設され、製造販売を開始しました。平成10年に福祉工場として新築移転し、「パン製造部門」と「農産加工部門」(味噌、ジャム等)に分かれ、現在では32名の障がい者を雇用しています。地元の食材を活用した商品を製造販売し、地域に支えられながら、日々の作業に取り組んでいます。



### ◆ 障がい者が従事している作業内容等

パン製造に18名、農産加工に9名、事務補助に1名、従業員の朝食と昼食を準備する厨房に2名、直営店である二戸店に2名が、それぞれの能力や特性を生かして働いています。特にパン製造は朝早く、3時半、4時半、6時から勤務しています。製造量は1日平均1,300斤であり、約200店舗で販売しています。製造工程の中でそれぞれ得意不得意はありますが、担当業務を固定するのではなく、本人の希望に応じて、いろいろなことに挑戦できるようにしています。

### ◆ 障がい者の雇用に関して工夫していること

個々の健康管理等にも気を配り、朝夕の送迎体制を整え安定して働けるように支援しています。気持ち不安定な状態であると、仕事のミスにつながるため、生活面での支援も大切だと藤村施設長は話します。周りの職員の理解と協力があって、継続して働くためのトータルのフォローができるのだと感じました。

### ◆ 雇用を継続していく上での課題

藤村施設長は、「27年間働いている方もいますが、高齢化が徐々に進んでいることが課題です。」と話します。今後は、本人のプライドや意欲を尊重し、勤務時間を短くしたり、仕事の内容も分かり易いものに工夫したりしながら、継続雇用を支援していくとのことです。また、本人の希望によっては、法人内の就労継続支援B型(非雇成型)や生活介護事業所への移行も視野に入れていく必要あり、きめ細かな対応をしていきたいと話してくださいました。

### ◆ 障がい者雇用を検討している事業所へのアドバイス

「日頃の仕事の中から、やり方が決まっている作業や簡単な作業を集めてみてください。最初からパーフェクトに仕事をこなせる人はいません。できることを見つけること、可能性を探ることが大切だと思います。」(藤村施設長)

(取材:雇用対策・労働室)

